

# 2009年度 決算説明会

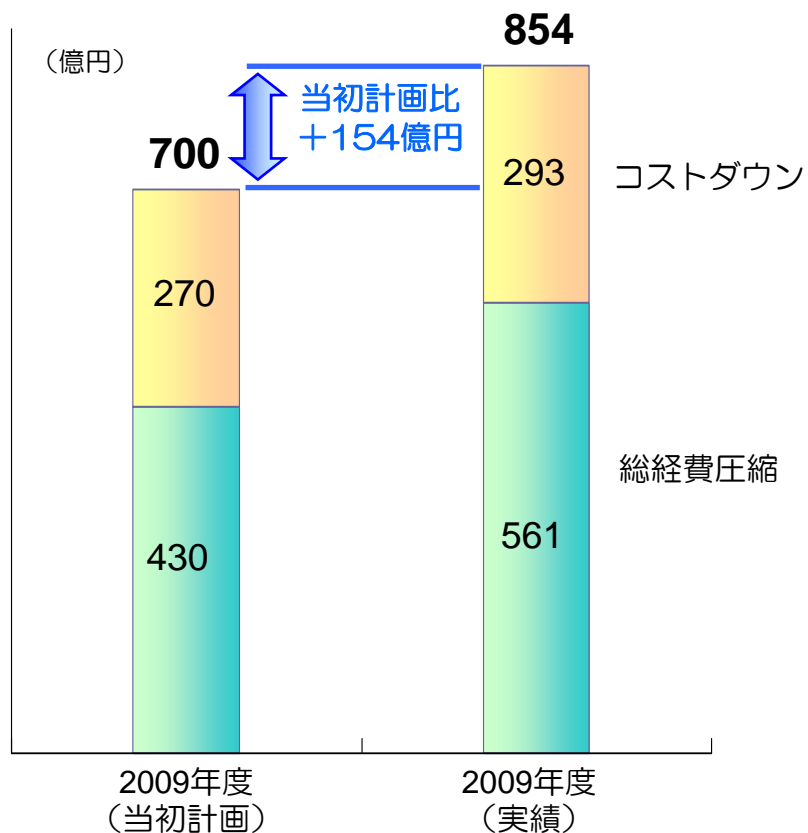
2010年5月12日

富士電機ホールディングス株式会社

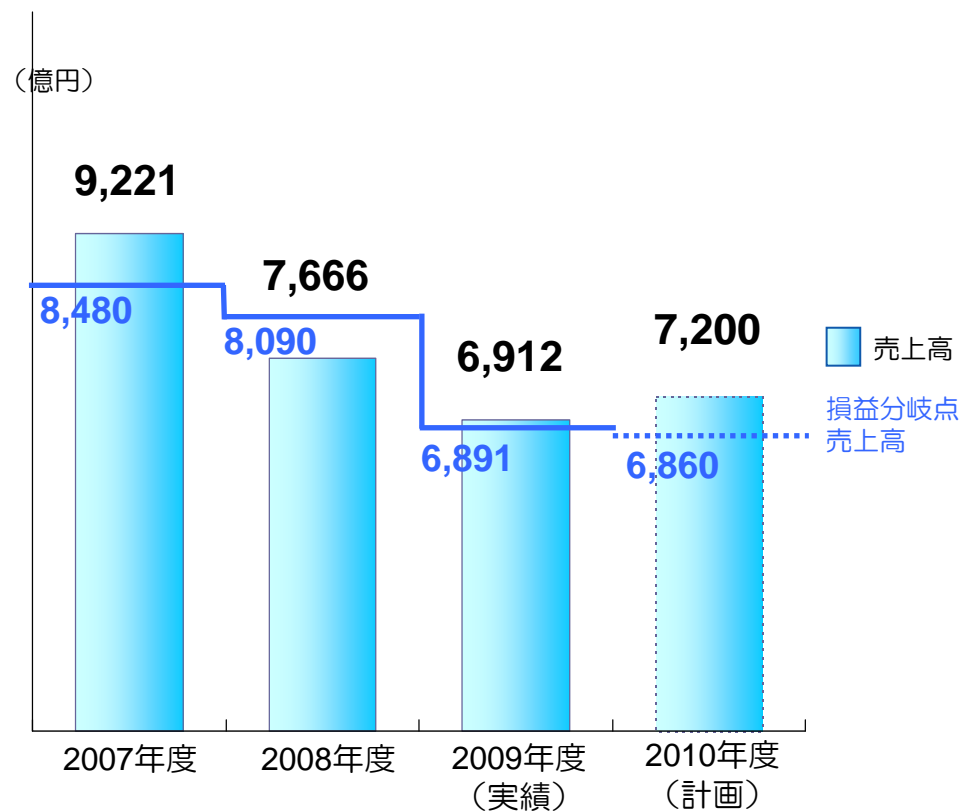
# 構造改革の成果

構造改革の断行により損益分岐点の引き下げ  
 総経費圧縮は当初計画に対し122%の達成率

総経費圧縮等  
 (2008年度比)



損益分岐点引き下げ



## 営業損益は黒字化を達成

(単位:億円)

	2009年度 予想*	2009年度 実績	増減
売上高	6,900	6,912	+12
営業損益	0	9	+9
経常損益	-30	-5	+25
特別損益	-60	-79	-19
当期純損益	-90	68	+158

平均為替レート US\$	¥ 92.67	¥ 92.85	¥ 0.18
平均為替レート EURO	¥ 128.50	¥ 131.15	¥ 2.65

\*2010/1/28発表予想

### 売上高 増減要因

電機システム +19	リテイルシステム-30
電子デバイス +13	

### 営業損益 増減要因

総経費圧縮等 +5
為替影響 +4

### 営業外損益 増減要因

為替影響 +8
---------

### 特別損益 増減要因

事業構造改革費用 -13
--------------

### 税金費用

繰延税金資産の追加計上 +145
------------------

## 2009年度通期 部門別売上高・営業損益(対予想)

(単位:億円)

	売上高			営業利益		
	2009年度 予想*	2009年度 実績	増減	2009年度 予想*	2009年度 実績	増減
電機システム	4,410	4,429	+19	140	131	-9
電子デバイス	1,290	1,303	+13	-120	-111	+9
リテイルシステム	1,190	1,160	-30	-10	-11	-1
その他	400	391	-9	20	24	+4
消去	-390	-371	+19	-30	-23	+7
合計	6,900	6,912	+12	0	9	+9

\*2010/1/28発表予想

### ■電機システム

売上高は上回るもコンポーネントを主体に損益未達

### ■電子デバイス

売上高、営業損益ともに景気回復影響により改善

### ■リテイルシステム

自販機を中心として売上高、営業損益ともに未達

# 2009年度通期 連結業績概要(対前年)

売上高は前期を下回るものの損益は大幅改善

(単位:億円)

	2008年度 実績	2009年度 実績	増減
売上高	7,666	6,912	-754
営業損益	-189	9	+198
経常損益	-208	-5	+202
特別損益	-259	-79	+180
当期純損益	-733	68	+801

平均為替レート US\$	¥ 100.54	¥ 92.85	¥ -7.69
平均為替レート EURO	¥ 143.48	¥ 131.15	¥ -12.33

## 売上高 増減要因

電機システム -475    リテイルシステム-204  
電子デバイス -113

## 営業損益 増減要因

コストダウン +293  
人件費減 +154  
資本費減 +70  
研究開発費減 +61  
その他経費減 +277  
物量減他 -632  
為替影響 -25

総経費圧縮  
+561

## 営業外損益 増減要因

金融収支 -30  
為替影響 +26

## 特別損益 増減要因

工事進行基準適用影響 +59  
固定資産売却益 +39  
投資有価証券評価損 +34  
事業構造改革 +20

## 税金費用

2008年度 繰延税金資産取崩 +310 (-310→0)  
2009年度 繰延税金資産計上 +145 (0→145)

## 2009年度通期 部門別売上高・営業損益(対前年)

(単位:億円)

	売上高			営業利益		
	2008年度	2009年度	増減	2008年度	2009年度	増減
電機システム	4,904	4,429	-475	107	131	+24
電子デバイス	1,416	1,303	-113	-310	-111	+199
リテイルシステム	1,364	1,160	-204	-5	-11	-6
その他	489	391	-98	28	24	-4
消去	-507	-371	+136	-8	-23	-15
合計	7,666	6,912	-754	-189	9	+198

### ■電機システム

売上高は、コンポーネントを中心に期後半より回復基調にあるものの、市況悪化の影響により前期を下回った。営業損益は総経費圧縮・コストダウンにより改善。

### ■電子デバイス

半導体:環境対応車向け需要増、第3四半期以降の産業向け需要の急回復があったものの、年間の売上高は下回った。営業損益は総経費圧縮・コストダウンにより改善。

ディスク媒体:HDD市場が好調に推移し、売上枚数は前期を上回ったが、売上高は為替影響などにより、前期並。営業損益は総経費圧縮・コストダウンにより改善。

### ■リテイルシステム

飲料・食品メーカーの投資抑制の影響を受け、自販機を中心に売上高、営業損益ともに前期を下回った。

## 2009年度通期 連結貸借対照表

資産の部	09/3/31	10/3/31	増減
現金及び預金	855	373	-481
売上債権	1,789	2,231	+442
棚卸資産	1,506	935	-571
その他	487	618	+130
流動資産 計	4,637	4,157	-480
有形固定資産	1,946	1,762	-184
無形固定資産	106	106	-0
投資その他の資産	2,397	3,063	+666
固定資産 計	4,449	4,930	+482
繰延資産	4	2	-2
資産 合計	9,089	9,089	-0

(単位:億円)

負債、純資産の部	09/3/31	10/3/31	増減
買入債務	1,211	1,317	+106
金融債務	4,161	3,598	-563
その他負債	2,256	2,213	-43
負債 合計	7,628	7,128	-500
資本金	476	476	-
資本剰余金	467	467	0
利益剰余金	349	420	+72
自己株式	-71	-71	-0
株主資本	1,221	1,292	+72
評価・換算差額等	83	496	+414
少数株主持分	158	173	+15
純資産 合計	1,461	1,961	+500
負債・純資産 合計	9,089	9,089	-0
自己資本比率(%)	14.3	19.7	+5.4
ネットD/Eレシオ(倍)	2.5	1.8	-0.7

## フリー・キャッシュ・フローの黒字を確保

(単位:億円)

	2008年度	2009年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	231	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	-123	-5
フリー・キャッシュ・フロー	108	114
財務活動によるキャッシュ・フロー	538	-626
換算差額等	-13	+31
増 減	633	-481

棚卸資産の圧縮

固定資産の売却

短期借入金の返済  
ユーロ円CBの償還

現金及び現金同等物の期首残高	221	854
現金及び現金同等物の期末残高	854	373



施策経費の増加があるものの2009年度レベルのBEPの維持により増益

(単位:億円)

	2009年度 実績	2010年度 予想	増減
売上高	6,912	7,200	+288
営業損益	9	160	+151
経常損益	-5	135	+140
当期純損益	68	260	+192

### 営業損益 増減要因

売上原価率	82.3%	→	79.3%	(-3.0%)
販管费率	17.6%	→	18.5%	(+0.9%)
施策経費	150億円			

### 営業外損益 増減要因

金融収支	-4
為替影響	-7

平均為替レート US\$	¥92.85	¥90.00	¥-2.85
平均為替レート EURO	¥131.15	¥115.00	¥-16.15

	US\$	EURO
1円影響(億円)	3.2	0.7

(単位:億円)

	通期予想	
	売上高	営業損益
エネルギーソリューション	730	10
環境ソリューション	2,900	80
半導体	830	50
自販機	860	20
器具	500	0
ディスク媒体	600	20
工事・その他	1,260	20
消去	-480	-40
合計	7,200	160

## セグメント別主要施策

### エネルギーソリューション

- ・米国市場を中心とした地熱発電案件の受注獲得
- ・太陽電池セル・モジュール、システム販売の受注拡大
- ・スマートグリッド市場を見据えた実証試験案件の推進

### 環境ソリューション

- ・工場向け省エネソリューションの展開と海外プラントの受注拡大
- ・環境対応車分野の新事業立ち上げと鉄道分野の協業推進
- ・ビル・店舗、IDC向け省エネソリューションの展開

### 半導体

- ・【自動車】新興国、北米市場の売上拡大と環境対応車向け製品の市場投入
- ・【産業】生産能力の増強と新エネルギー向け大容量パワーモジュールの売上拡大
- ・【情報・電源】PC、薄型TV向けに加え、IDC向け半導体の売上拡大

### 自販機

- ・サプライチェーン改革の徹底
- ・自販機周辺サービスの拡大
- ・食品・物品自販機の拡大

### 器具

- ・徹底したコストダウン、総経費の圧縮
- ・受配電市場向けの強化による売上拡大

### ディスク媒体

- ・長期契約による確実な物量獲得
- ・サプライチェーン改革の徹底

	2009年度実績	2010年度予想
ネット金融債務残高	3,225億円	2,215億円
ネットD/Eレシオ	1.8倍	1.2倍程度
フリー・キャッシュ・フロー	114億円	1,100億円
自己資本比率	19.7%	20%以上

# 配 当

(単位:円)

	中間	期末	年間
2008年度実績	4.00	0.00	4.00
2009年度実績	0.00	1.50	1.50
2010年度予想	未定	未定	未定

## <参考> 2010年度上期 連結業績予想

(単位:億円)

	2009年度 上期実績	2010年度 上期予想	増減
売上高	2,912	3,130	+218
営業損益	-205	-125	+80
経常損益	-238	-160	+78
当期純損益	-163	80	+243

平均為替レート US\$	¥ 95.49	¥ 90.00	¥ -5.49
平均為替レート EURO	¥ 133.16	¥ 115.00	¥ -18.16

	US\$	EURO
1円影響(億円)	1.5	0.3

	2010年度	
	売上高	営業損益
エネルギーソリューション	245	-40
環境ソリューション	1,150	-60
半導体	410	20
自販機	395	-20
器具	250	-5
ディスク媒体	300	10
工事・その他	565	-5
消去	-185	-25
合計	3,130	-125

1. 本資料および本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社により何らかの行動を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。